

# 1 令和元年産果樹の結果樹面積・収穫量・出荷量の動向

令和元年産果樹の結果樹面積は17万5,000haで、前年産に比べ2,800ha（2%）減少した。  
 収穫量は235万t、出荷量は210万9,000tで、前年産に比べそれぞれ14万t（6%）、11万8,000t（5%）減少した。

図1 果樹の結果樹面積・収穫量・出荷量の推移（全国）

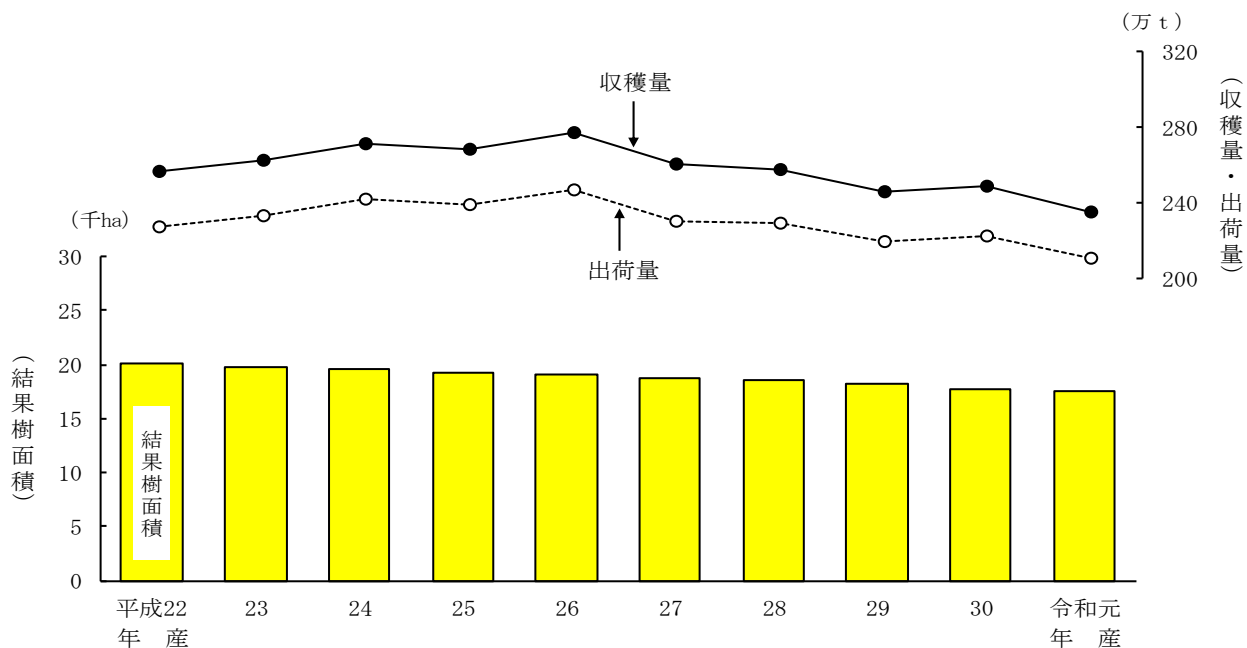


表1 令和元年産果樹の結果樹面積・10a当たり収量・収穫量・出荷量（全国）

品目	結果樹面積	10a当たり収量	収穫量	出荷量	2) 対前年産比			
					結果樹面積	10a当たり収量	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
計	175,000	...	2,350,000	2,109,000	98	nc	94	95
みかん	38,700	1,930	746,700	668,400	95	105	101	101
りんご	36,000	1,950	701,600	632,800	99	93	93	93
日本なし	11,100	1,890	209,700	193,900	97	93	90	90
西洋なし	1,450	1,990	28,900	25,500	99	109	107	108
かき	18,900	1,100	208,200	175,300	99	101	100	102
びわ	1,110	309	3,430	2,820	95	130	123	123
もも	9,540	1,130	107,900	99,500	99	97	95	95
すもも	2,770	653	18,100	16,000	100	79	78	78
おうとう	4,320	373	16,100	14,400	99	90	89	89
うめ	14,500	608	88,100	77,700	98	80	78	78
ぶどう	16,600	1,040	172,700	160,500	99	99	99	99
くり	17,800	88	15,700	12,500	97	98	95	96
1) パインアップル	320	2,330	7,460	7,280	100	101	102	102
キウイフルーツ	1,900	1,330	25,300	22,500	97	104	101	103

注： 1)のりんごは、沖縄県のみ数値である。また、結果樹面積は収穫面積である。  
 2)のみかんは、果実数が増える年（表年）と減る年（裏年）とが交互に発生する傾向があることから、対前年産比については平成29年産と対比した。

## 2 品目別の結果樹面積・10a当たり収量・収穫量・出荷量

### (1) みかん

#### ア 結果樹面積

結果樹面積は3万8,700haで、前年産に比べ900ha（2%）減少した。

なお、平成29年産に比べると1,900ha（5%）減少した。

これは、高齢化による労力不足に伴う廃園があったこと等による。

#### イ 10a当たり収量

10a当たり収量は1,930kgで、平成29年産に比べ100kg（5%）上回った。

これは、生育期間中の適度な降雨により果実の肥大が良好だったこと等による。

#### ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は74万6,700t、出荷量は66万8,400tで、平成29年産に比べると、それぞれ5,400t（1%）、7,100t（1%）増加した。

都道府県別にみた収穫量割合は、和歌山県が21%、愛媛県が17%、静岡県が12%、熊本県が11%、長崎県が7%となっており、この5県で全国の約7割を占めている。

図2 みかんの結果樹面積、収穫量及び出荷量の推移（全国）

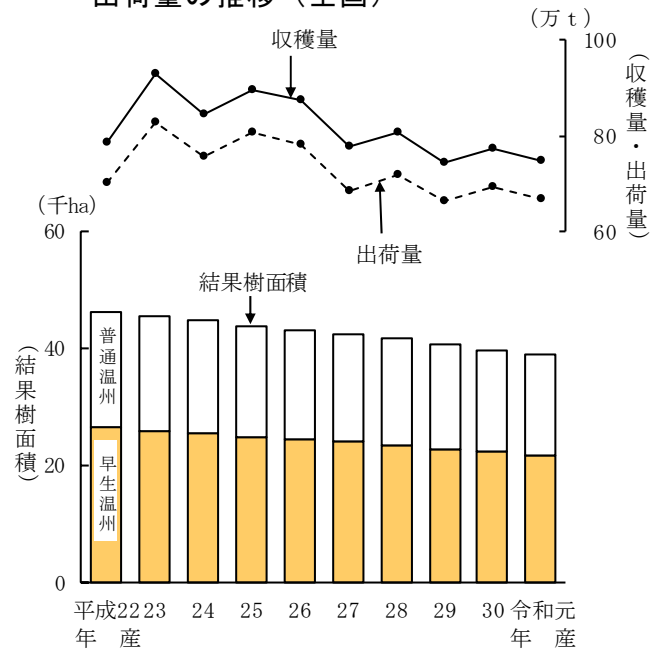
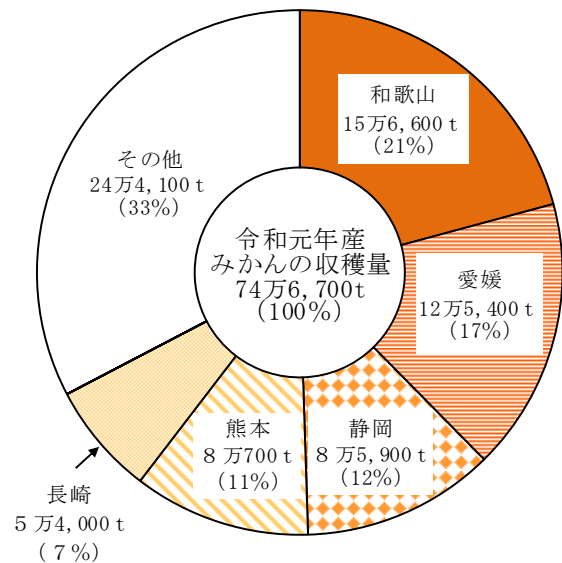


図3 みかんの都道府県別収穫量



注：割合については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。以下同じ。

表2 令和元年産みかんの結果樹面積・10a当たり収量・収穫量・出荷量（全国）

区分	結果樹面積	10a当たり収	収穫量		出荷量	対29年産比				
			実数	割合		結果樹面積	結果樹面積	10a当たり収量	収穫量	出荷量
みかん	ha	kg	t	%	t	%	%	%	%	%
みかん	38,700	1,930	746,700	100	668,400	98	95	105	101	101
早生温州	21,700	2,070	449,600	60	407,700	98	95	106	101	101
うち 極早生みかん	6,350	1,990	126,100	17	115,200	97	93	104	97	97
ハウスみかん	389	4,940	19,200	3	18,300	97	94	101	95	95
普通温州	17,000	1,750	297,100	40	260,700	98	96	105	101	101

注：1 みかんは、果実数が多くなる年（表年）と少なくなる年（裏年）とが交互に発生する傾向があることから、結果樹面積は前年産（平成30年産）及び前々年産（平成29年産）と、10a当たり収量、収穫量及び出荷量は前々年産（平成29年産）と対比した。

2 極早生みかん及びハウスみかんは、早生温州の内数である。

(2) りんご

ア 結果樹面積

結果樹面積は3万6,000haで、前年産に比べ200ha（1%）減少した。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は1,950kgで、前年産に比べ140kg（7%）下回った。

これは、青森県において、生育期間中の少雨により果実肥大が抑制されたことに加え、長野県で台風による落果等があったこと等による。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は70万1,600t、出荷量は63万2,800tで、前年産に比べそれぞれ5万4,500t（7%）、4万6,800t（7%）減少した。

都道府県別にみた収穫量割合は、青森県が58%、長野県が18%、岩手県が7%となっており、この3県で全国の約8割を占めている。

図4 りんごの結果樹面積、収穫量及び出荷量の推移（全国）

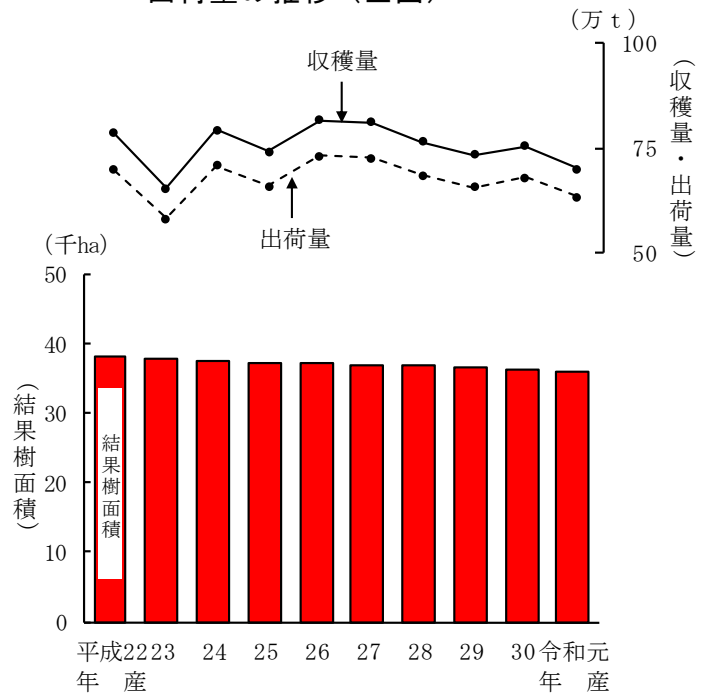


図5 りんごの都道府県別収穫量

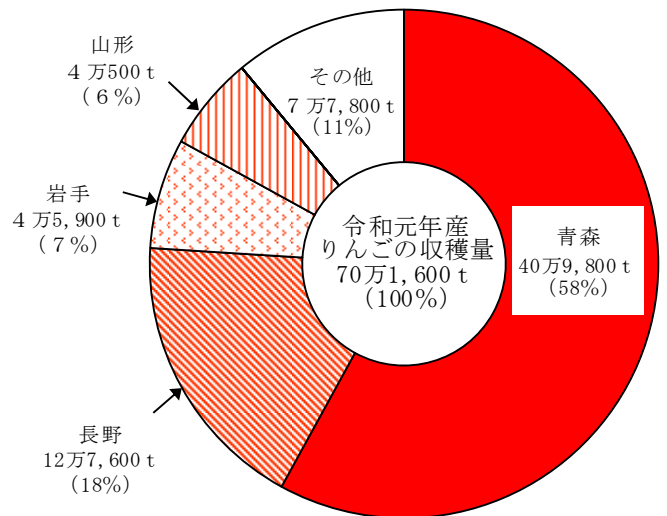


表3 令和元年産りんごの結果樹面積・10a 当たり収量・収穫量・出荷量（全国）

品目・品種	結果樹面積	10a 当たり収	収穫量		出荷量	対前年産比			
			実数	割合		結果樹面積	10a 当たり収	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	%	t	%	%	%	%
りんご	36,000	1,950	701,600	100	632,800	99	93	93	93
うちふじ	18,400	1,950	359,300	51	325,900	99	90	89	90
つがる	4,500	1,720	77,200	11	69,400	99	99	98	99
王林	2,730	1,900	51,900	7	47,000	99	101	99	100
ジョナゴールド	2,450	1,770	43,300	6	39,300	98	90	88	89

(3) 日本なし

ア 結果樹面積

結果樹面積は1万1,100haで、前年産に比べ300ha（3%）減少した。

これは、高齢化による労力不足に伴う廃園があったこと等による。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は1,890kgで、前年産に比べ140kg（7%）下回った。

これは、果実肥大期の低温・日照不足等による影響や一部の地域で台風による落果等の被害が発生したこと等による。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は20万9,700t、出荷量は19万3,900tで、前年産に比べ2万2,100t（10%）、2万400t（10%）減少した。

都道府県別の収穫量割合は、茨城県が10%、千葉県及び栃木県がそれぞれ9%、福島県が8%、鳥取県が7%、長野県が6%となっており、この6県で全国の約5割を占めている。

図6 日本なしの結果樹面積、収穫量及び出荷量の推移（全国）

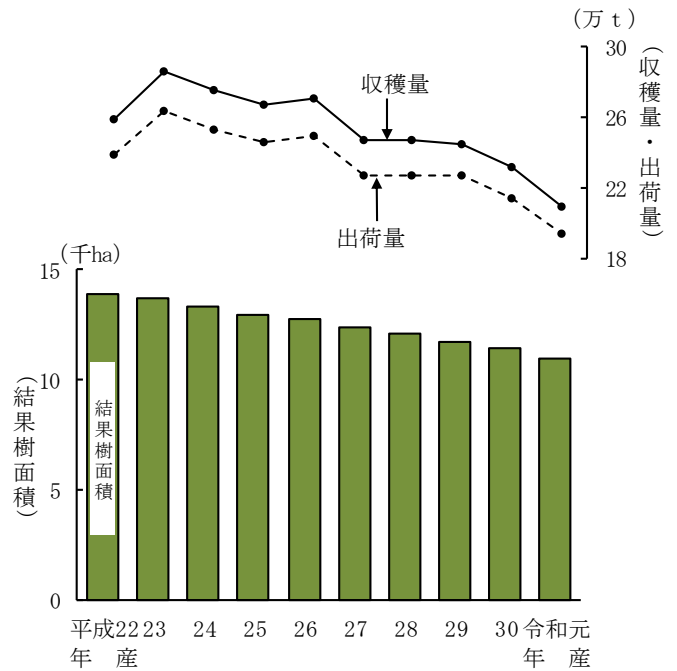


図7 日本なしの都道府県別収穫量

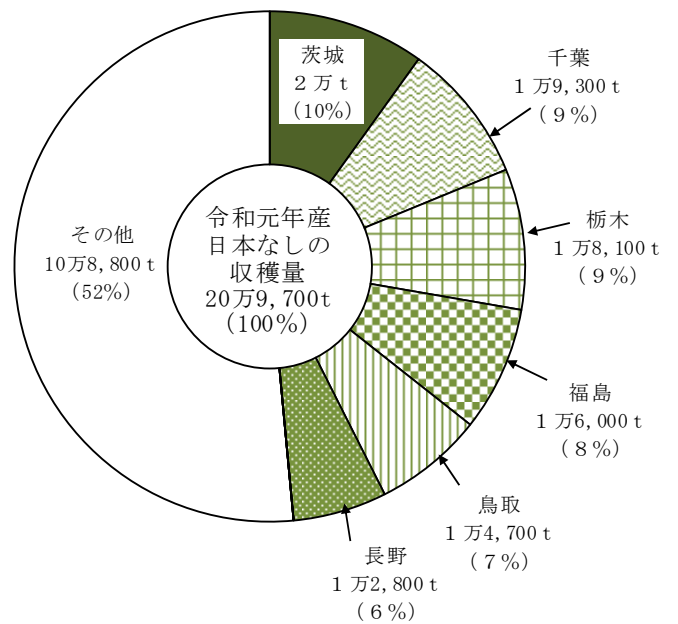


表4 令和元年産日本なしの結果樹面積・10a 当たり収量・収穫量・出荷量（全国）

品目	結果樹面積	10a 当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比			
					結果樹面積	10a 当たり収	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
日本なし	11,100	1,890	209,700	193,900	97	93	90	90

(4) 西洋なし

ア 結果樹面積

結果樹面積は1,450haで、前年産に比べ20ha（1%）減少した。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は1,990kgで、前年産に比べ160kg（9%）上回った。

これは、台風等による影響が少なく、9月～10月上旬の適度な降雨や日照時間により、果実の肥大が順調で大玉傾向となったためである。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は2万8,900t、出荷量は2万5,500tで、前年産に比べそれぞれ2,000t（7%）、1,800t（8%）増加した。

都道府県別の収穫量割合は、山形県が全国の約7割を占めている。

図8 西洋なしの結果樹面積、収穫量及び出荷量の推移（全国）

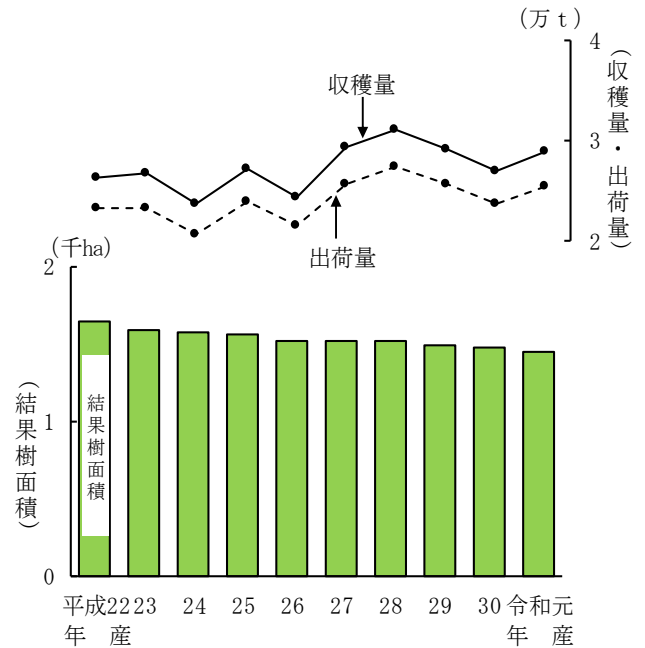


図9 西洋なしの都道府県別収穫量

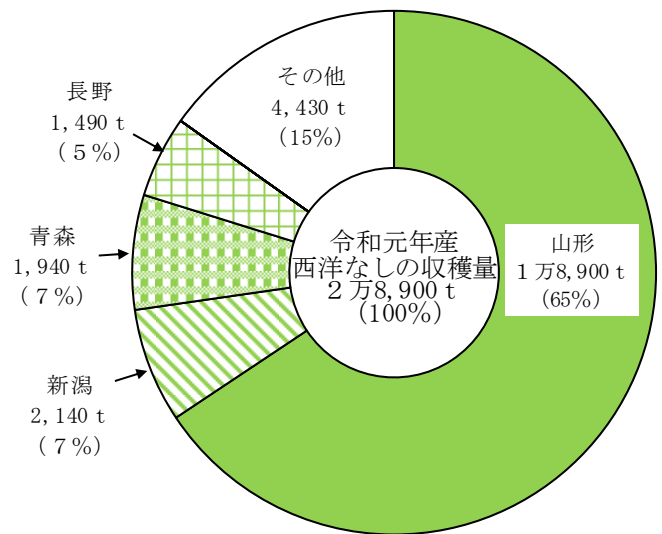


表5 令和元年産西洋なしの結果樹面積・10a 当たり収量・収穫量・出荷量（全国）

品目	結果樹面積	10a 当たり収量	収穫量	出荷量	対前年産比			
					結果樹面積	10a 当たり収量	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
西洋なし	1,450	1,990	28,900	25,500	99	109	107	108

(5) かき

ア 結果樹面積

結果樹面積は1万8,900haで、前年産に比べ200ha（1%）減少した。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は1,100kgで、前年産に比べ10kg（1%）上回った。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は20万8,200tで前年産並みとなり、出荷量は17万5,300tで、前年産に比べ3,100t（2%）増加した。

都道府県別の収穫量割合は、和歌山県が21%、奈良県が15%、福岡県が8%、岐阜県が7%、愛知県が5%となっており、この5県で全国の約6割を占めている。

図10 かきの結果樹面積、収穫量及び出荷量の推移（全国）

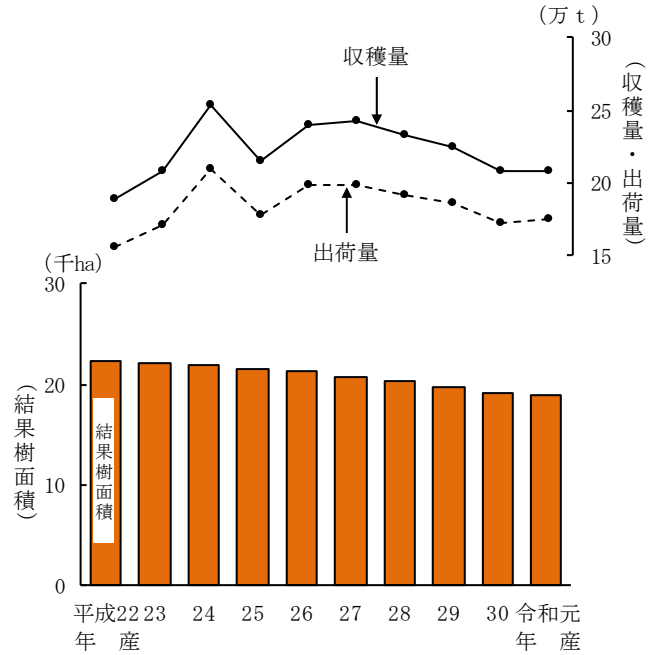


図11 かきの都道府県別収穫量

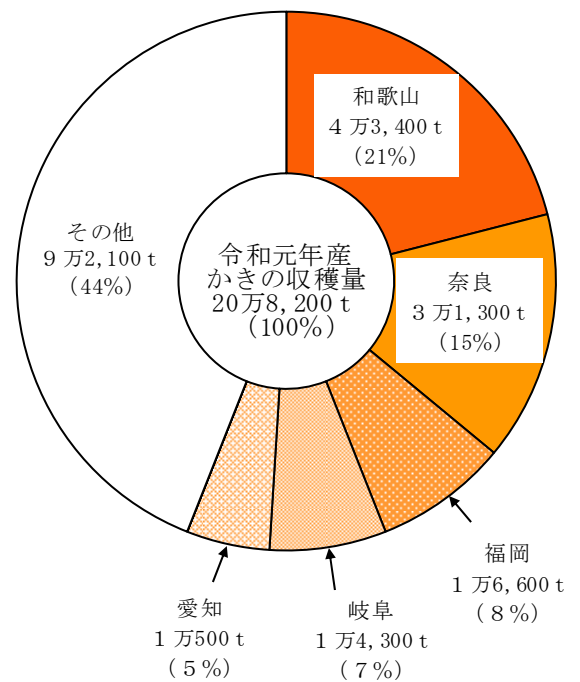


表6 令和元年産かきの結果樹面積・10a 当たり収量・収穫量・出荷量（全国）

品目	結果樹面積	10a 当たり収量	収穫量	出荷量	対前年産比			
					結果樹面積	10a 当たり収量	収穫量	出荷量
かき	ha	kg	t	t	%	%	%	%
	18,900	1,100	208,200	175,300	99	101	100	102

(6) びわ

ア 結果樹面積

結果樹面積は1,110haで、前年産に比べ60ha（5%）減少した。

これは、高齢化による労力不足に伴う廃園があったこと等による。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は309kgで、前年産に比べ71kg（30%）上回った。

これは、おおむね天候に恵まれ順調に生育したことから、作柄の悪かった前年産を上回ったためである。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は3,430t、出荷量は2,820tで、前年産に比べそれぞれ640t（23%）、520t（23%）増加した。

都道府県別の収穫量割合は、長崎県が33%、千葉県が16%、鹿児島県が7%、香川県が7%、愛媛県が6%となっており、この5県で全国の約7割を占めている。

図 12 びわの結果樹面積、収穫量及び出荷量の推移（全国）

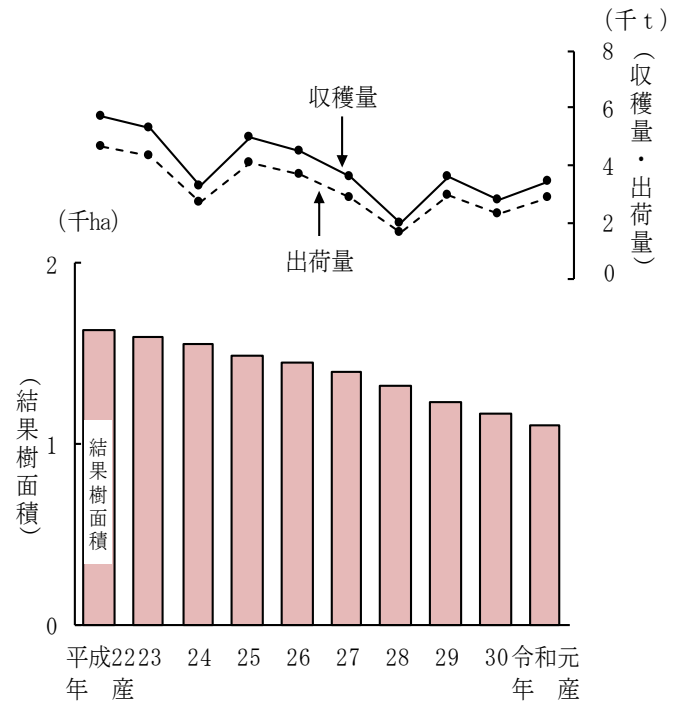


図 13 びわの都道府県別収穫量

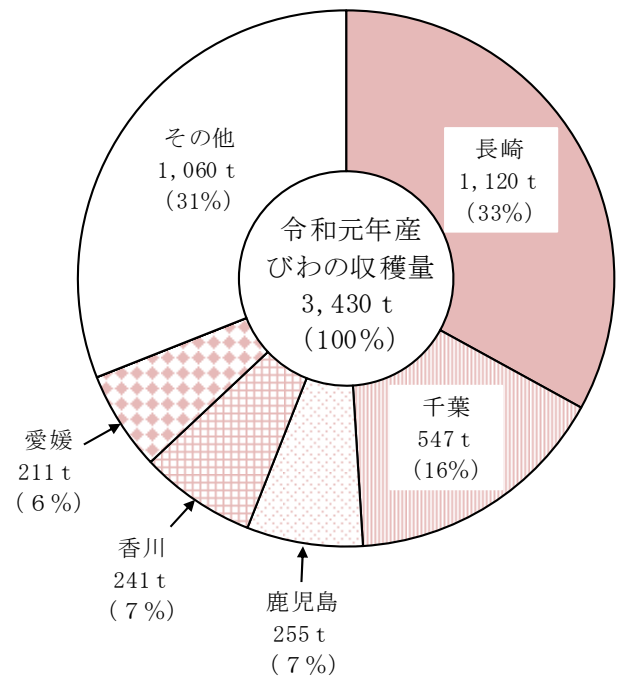


表 7 令和元年産びわの結果樹面積・10a 当たり収量・収穫量・出荷量（全国）

品 目	結果樹面積	10a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比			
					結 果 樹 面 積	10a 当 たり 収	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
び わ	1,110	309	3,430	2,820	95	130	123	123

(7) もも

ア 結果樹面積

結果樹面積は9,540haで、前年産に比べ140ha（1%）減少した。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は1,130kgで、前年産に比べ40kg（3%）下回った。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は10万7,900t、出荷量は9万9,500tで、前年産に比べそれぞれ5,300t（5%）、4,900t（5%）減少した。

都道府県別の収穫量割合は、山梨県が28%、福島県が25%、長野県が11%となっており、この3県で全国の約6割を占めている。

図 14 ももの結果樹面積、収穫量及び出荷量の推移（全国）

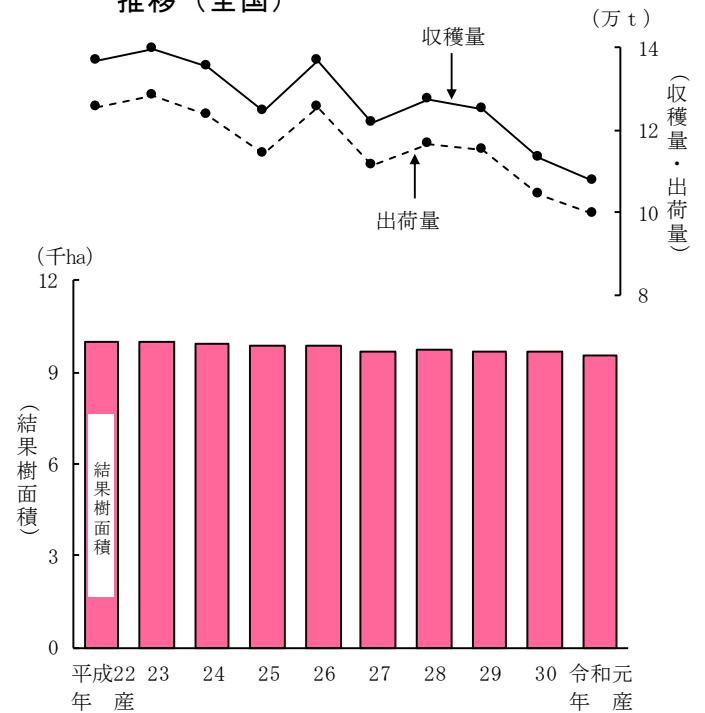


図 15 ももの都道府県別収穫量

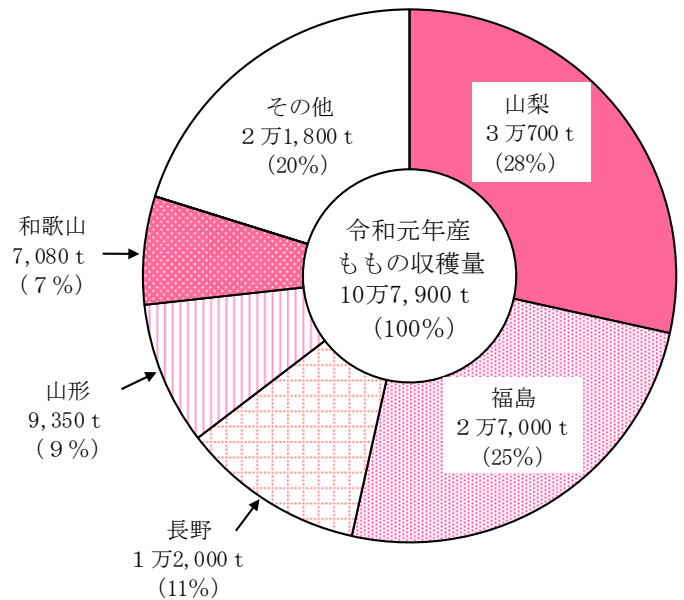


表 8 令和元年産ももの結果樹面積・10a 当たり収量・収穫量・出荷量（全国）

品目	結果樹面積	10a 当たり収量	収穫量	出荷量	対前年産比			
					結果樹面積	10a 当たり収量	収穫量	出荷量
もも	ha	kg	t	t	%	%	%	%
	9,540	1,130	107,900	99,500	99	97	95	95



(8) すもも

ア 結果樹面積

結果樹面積は2,770haで、前年産並みとなった。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は653kgで、前年産に比べ178kg (21%) 下回った。

これは、開花期の低温等の影響による受精不良で、着果数が少なかったこと等による。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は1万8,100t、出荷量は1万6,000tで、前年産に比べそれぞれ5,000t (22%)、4,400t (22%) 減少した。

都道府県別の収穫量割合は、山梨県が30%、長野県が15%、和歌山県が11%となっており、この3県で全国の約6割を占めている。

図 16 すももの結果樹面積、収穫量及び出荷量の推移 (全国)

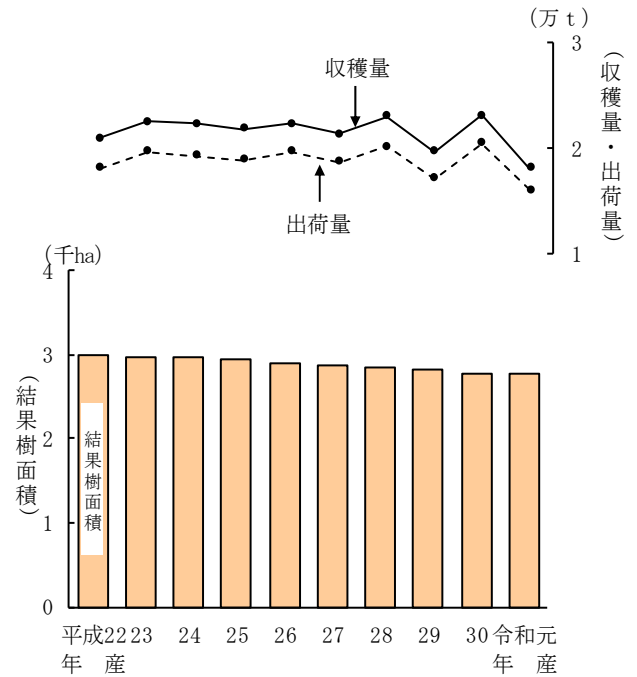


図 17 すももの都道府県別収穫量

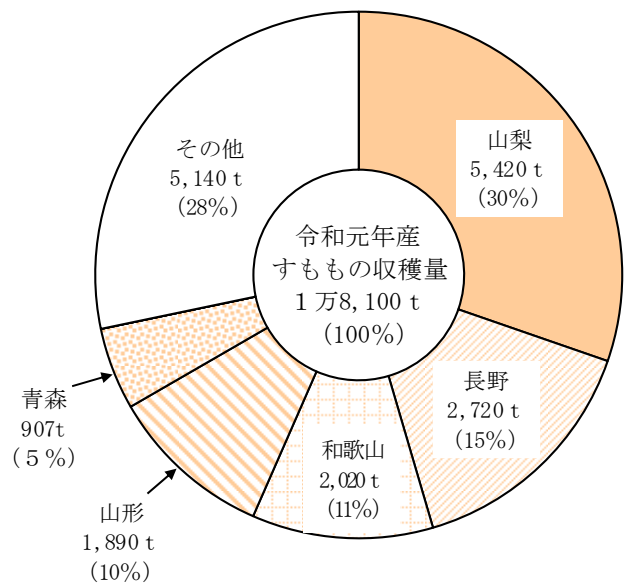


表 9 令和元年産すももの結果樹面積・10a 当たり収量・収穫量・出荷量 (全国)

品 目	結果樹面積	10a 当たり収	量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比			
						結 果 樹 面 積	10a 当 たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%	
す も も	2,770	653	18,100	16,000	100	79	78	78	

(9) おうとう

図 18 おうとうの結果樹面積、収穫量及び出荷量の推移（全国）

ア 結果樹面積

結果樹面積は4,320haで、前年産に比べ30ha（1%）減少した。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は373kgで、前年産に比べ43kg（10%）下回った。

これは、山形県において開花期の低温等の影響による受精不良で、着果数が少なかったこと等による。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は1万6,100t、出荷量は1万4,400tで、前年産に比べそれぞれ2,000t（11%）、1,800t（11%）減少した。

都道府県別の収穫量割合は、山形県が全国の約7割を占めている。

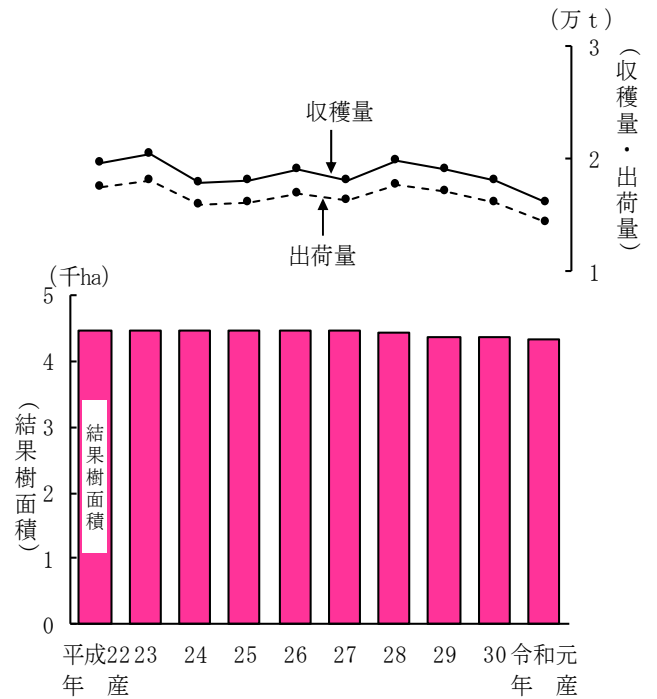


図 19 おうとうの都道府県別収穫量

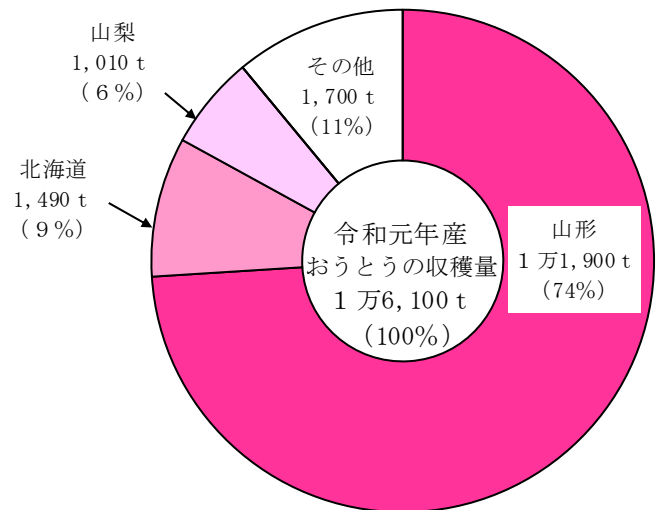


表 10 令和元年産おうとうの結果樹面積・10a 当たり収量・収穫量・出荷量（全国）

品 目	結果樹面積	10a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比			
					結 果 樹 面 積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
お う と う	4,320	373	16,100	14,400	99	90	89	89

(10) うめ

ア 結果樹面積

結果樹面積は1万4,500haで、前年産に比べ300ha（2%）減少した。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は608kgで、前年産に比べ151kg（20%）下回った。

これは、和歌山県において前年の台風第21号の影響により着果数が少なかったことに加え、少雨の影響により果実の肥大が抑制されたこと等から、作柄の良かった前年産を下回ったためである。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は8万8,100t、出荷量は7万7,700tで、前年産に比べそれぞれ2万4,300t（22%）、2万1,500t（22%）減少した。

都道府県別の収穫量割合は、和歌山県が全国の約7割を占めている。

図20 うめの結果樹面積、収穫量及び出荷量の推移（全国）

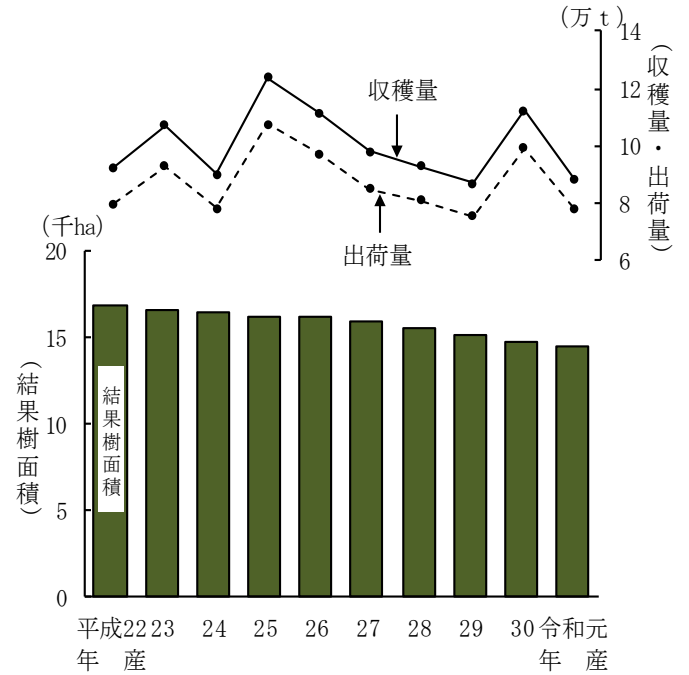


図21 うめの都道府県別収穫量

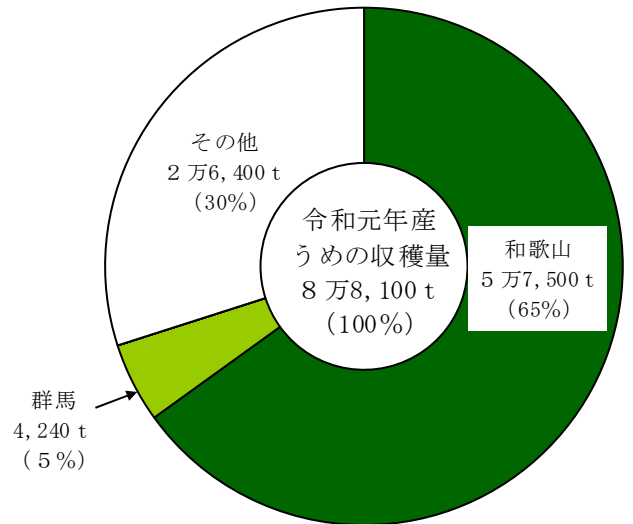


表11 令和元年産うめの結果樹面積・10a 当たり収量・収穫量・出荷量（全国）

品目	結果樹面積	10a 当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比			
					結果樹面積	10a 当たり収	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
うめ	14,500	608	88,100	77,700	98	80	78	78

(11) ぶどう

ア 結果樹面積

結果樹面積は1万6,600haで、前年産に比べ100ha（1%）減少した。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は1,040kgで、前年産に比べ10kg（1%）下回った。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は17万2,700t、出荷量は16万500tで、前年産に比べそれぞれ2,000t（1%）、1,000t（1%）減少した。

都道府県別の収穫量割合は、山梨県が21%、長野県が18%、山形県及び岡山県がそれぞれ9%となっており、この4県で全国の約6割を占めている。

図 22 ぶどうの結果樹面積、収穫量及び出荷量の推移（全国）

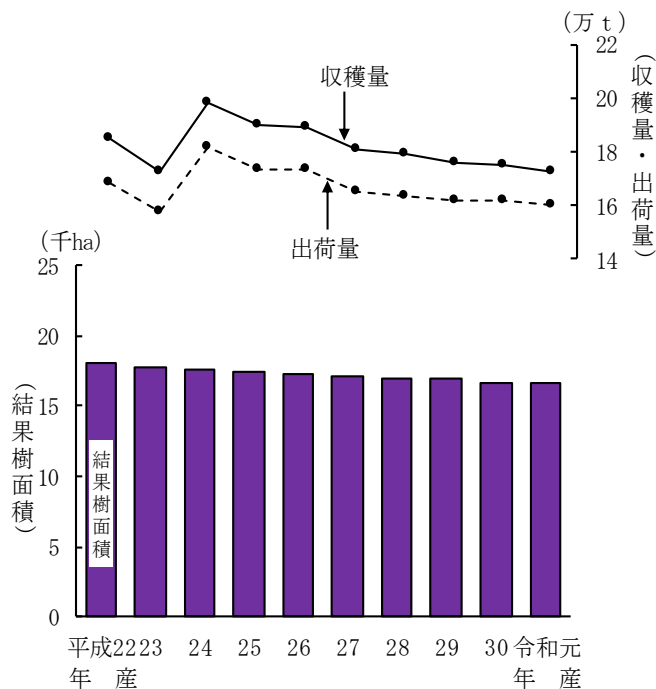


図 23 ぶどうの都道府県別収穫量

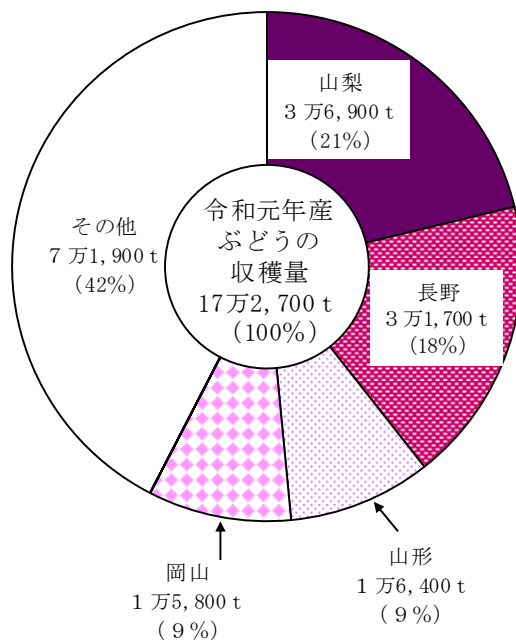


表 12 令和元年産ぶどうの結果樹面積・10a 当たり収量・収穫量・出荷量（全国）

品 目	結果樹面積	10a 当たり収	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比			
					結 果 樹 面 積	10a 当 たり 収	収 穫 量	出 荷 量
ぶ ど う	ha	kg	t	t	%	%	%	%
	16,600	1,040	172,700	160,500	99	99	99	99

(12) くり

ア 結果樹面積

結果樹面積は1万7,800haで、前年産に比べ500ha（3%）減少した。

これは、高齢化による労力不足に伴う廃園があったこと等による。

イ 10a 当たり収量

10a 当たり収量は88kgで、前年産に比べ2kg（2%）下回った。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は1万5,700t、出荷量は1万2,500tで、前年産に比べそれぞれ800t（5%）、500t（4%）減少した。

都道府県別の収穫量割合は、茨城県が20%、熊本県が18%、愛媛県が9%、岐阜県が5%、宮崎県が4%となっており、この5県で全国の約6割を占めている。

図 24 くりの結果樹面積、収穫量及び出荷量の推移（全国）

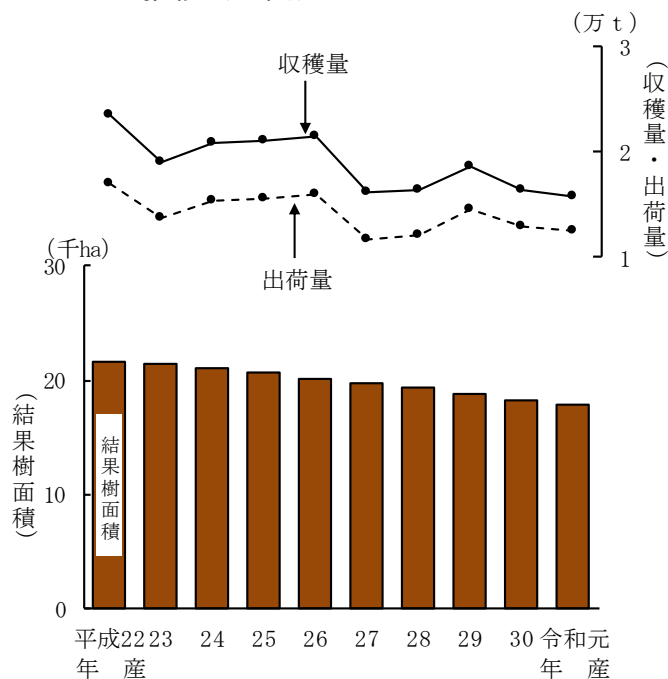


図 25 くりの都道府県別収穫量

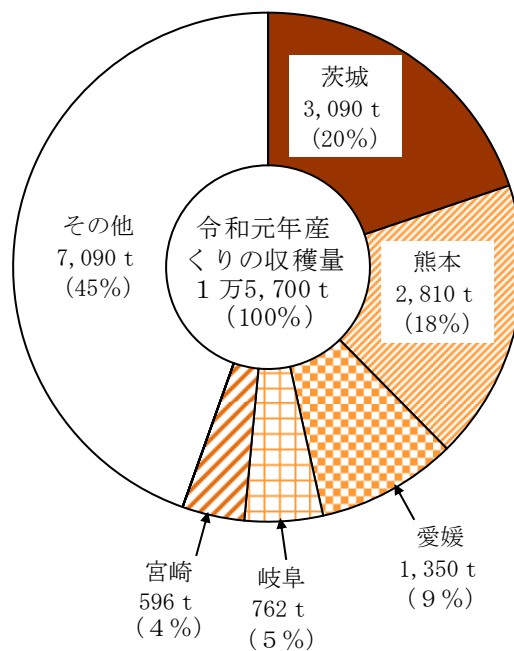


表 13 令和元年産くりの結果樹面積・10a 当たり収量・収穫量・出荷量（全国）

品 目	結果樹面積	10a 当たり収量	収穫量	出荷量	対 前 年 産 比			
					結果樹面積	10a 当たり収量	収穫量	出荷量
くり	ha	kg	t	t	%	%	%	%
	17,800	88	15,700	12,500	97	98	95	96

(13) パインアップル（沖縄県）

ア 収穫面積

収穫面積は320haで、前年産並みとなった。

イ 10 a 当たり収量

10 a 当たり収量は2,330kgで、前年産に比べ30kg（1%）上回った。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は7,460 t、出荷量は7,280 tで、前年産に比べそれぞれ120 t（2%）増加した。

出荷量を用途別にみると、生食向けは4,770 t（66%）、加工向けは2,510 t（34%）となっている。

図 26 パインアップルの収穫面積、収穫量及び出荷量の推移（沖縄県）

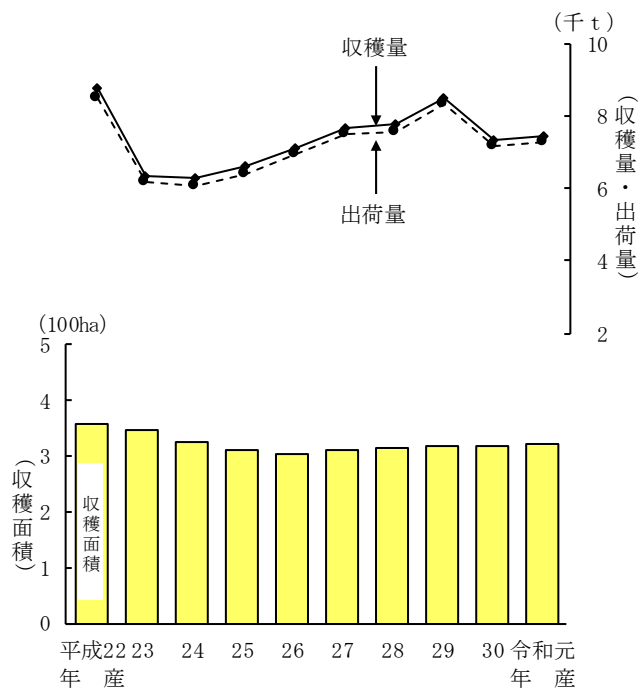


図 27 パインアップルの用途別出荷量（沖縄県）

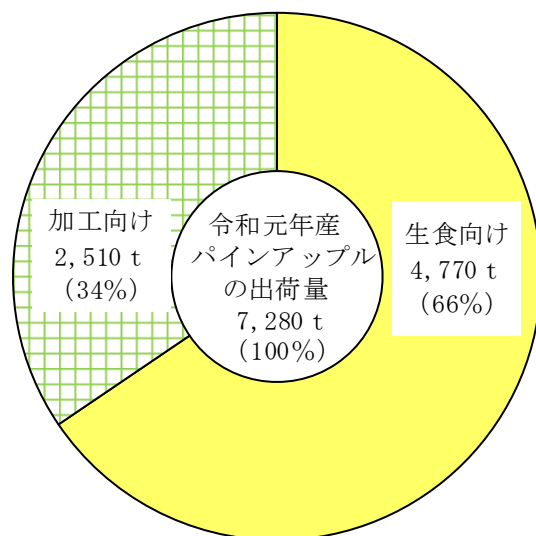


表 14 令和元年産パイナップルの収穫面積・10 a 当たり収量・収穫量・出荷量（沖縄県）

区分	収穫面積	10 a 当たり収量	収穫量	出荷量			対前年産比					
				計	生食向	加工向	収穫面積	10 a 当たり収量	収穫量	出荷量		
										計	生食向け	加工向け
ha	kg	t	t	t	t	%	%	%	%	%	%	
沖縄	320	2,330	7,460	7,280	4,770	2,510	100	101	102	102	100	105

(14) キウイフルーツ

ア 結果樹面積

結果樹面積は1,900haで、前年産に比べ50ha（3%）減少した。

イ 10a当たり収量

10a当たり収量は1,330kgで、前年産に比べ50kg（4%）上回った。

ウ 収穫量及び出荷量

収穫量は2万5,300t、出荷量は2万2,500tで、前年産に比べそれぞれ300t（1%）、700t（3%）増加した。

都道府県別の収穫量割合は、愛媛県が24%、福岡県が21%、和歌山県が12%、神奈川県が6%、静岡県が4%となっており、この5県で全国の約7割を占めている。

図 28 キウイフルーツの結果樹面積、収穫量及び出荷量の推移（全国）

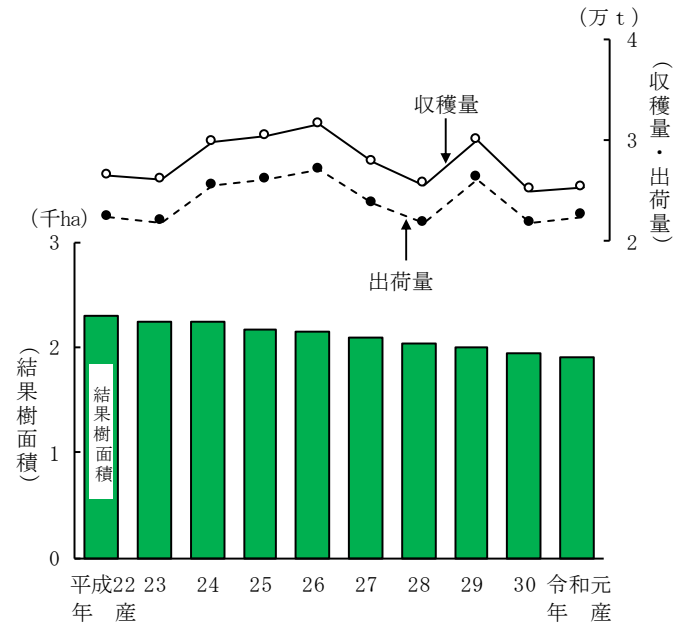


図 29 キウイフルーツの都道府県別収穫量

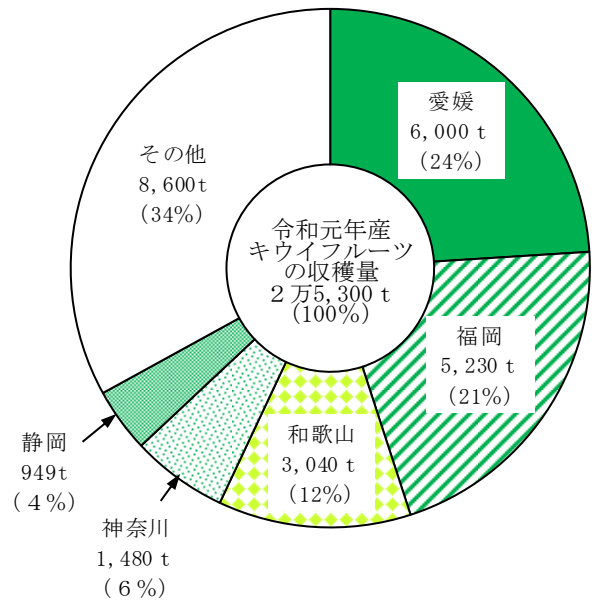


表 15 令和元年産キウイフルーツの結果樹面積・10a当たり収量・収穫量・出荷量（全国）

品目	結果樹面積	10a当たり収量	収穫量	出荷量	対前年産比			
					結果樹面積	10a当たり収量	収穫量	出荷量
キウイフルーツ	ha	kg	t	t	%	%	%	%
	1,900	1,330	25,300	22,500	97	104	101	103